

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

公民 科目 公共

教科：公民

科目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～F組

使用教科書：（『公共 新訂版 共につくる未来』（実教出版））

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】判断の手掛かりとなる理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切に調べとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、社会参画を視野に入れ議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解する。 ○倫理的主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付ける。	○現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力を養う。 ○合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	○よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】人生における青年期の意義や特徴を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】望ましい社会のあり方と自己の生き方との関連について考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、自身をとりまく諸課題を自分事としてとらえさせる。	「第1編 公共の扉」から青年期の単元を中心に学習する。自分自身の発達段階を理解するとともに、ジョハリの4つの窓などのグループワークを通してアイデンティティの確立を図る。	【知識・技能】青年期の意義や特徴を生徒自身の体験と関連づけながら理解している。 【思考・判断・表現】望ましい社会の在り方とそこに生きる生徒自身の現在から将来に向かっての生き方について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査	定期考査		○	○	○	1
	定期考査の復習	定期考査の復習		○	○	○	1
	【知識及び技能】先人たちがそれぞれ「人間の幸福」をどのように捉えていたか理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】先人たちの考えを土台として、現代の私たちがとっている「人間の幸福」を現実社会と関連させながら考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、自身をとりまく諸課題を自分事としてとらえさせる。	「第1編 公共の扉」から哲学の単元で学んだことを土台とし、先人たちの考えを参考にしながら人間としてのより良い生き方への考えを深める。	【知識・技能】先人たちの抱いた問いやそれについての考えを理解している。 【思考・判断・表現】先人たちの考えをふまえ、現代社会の課題に対して考えを深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	10
定期考査	定期考査		○	○	○	1	
	定期考査の復習 一学期のまとめ	定期考査の復習一学期のまとめ		○	○	○	2
2 学 期	【知識及び技能】民主主義が成立した過程と基本原理、意義について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】民主主義が抱える課題について自身の今後の社会参画のあり方とともに考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、自身をとりまく諸課題を自分事としてとらえさせる。	「第1編 公共の扉」および「第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち」より、政治の分野を中心に学習する。民主主義の意義や構造を他教科・他科目での学習と関連させて多角的な見方を身に着ける。	【知識・技能】民主主義が成立した過程と基本原理、意義について理解している。 【思考・判断・表現】民主主義が抱える課題について自身の今後の社会参画のあり方とともに考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査	定期考査		○	○	○	1
	定期考査の復習	定期考査の復習		○	○	○	1
	【知識及び技能】法体系や政治参加について、具体的事例と関連した理解をさせる。 【思考力、判断力、表現力等】現在の政治参加制度にどのようにかわっていくべきか考えさせ、生徒自身の言葉で表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、自身をとりまく諸課題を自分事としてとらえさせる。	「第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち」より、政治の分野を中心に学習する。2学期中間までの学習を土台として、日本の政治機構や日本国憲法について時事的な事柄と関連させて取り扱う。	【知識・技能】法体系や現代日本の政治参加制度とその課題について理解している。 【思考・判断・表現】現行の選挙制度の考え方を踏まえ、その課題点と自身の参加のあり方について考え、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	10
定期考査	定期考査		○	○	○	1	
	定期考査の復習 2学期のまとめ	定期考査の復習2学期のまとめ		○	○	○	2

3 学 期	<p>【知識及び技能】経済の基本的な概念や、資本主義・社会主義の仕組みと課題点を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】労働問題と人権思想の発展とのかかわりを自分事として捉え、意義を自分の言葉で表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、自身をとりまく諸課題を自分事としてとらえさせる。</p>	<p>「第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち」より、経済の分野を中心に学習する。「商業」と「経済」の違いを押さえ、資本主義や社会主義など現代社会を動かす仕組みへの理解を深める。</p>	<p>【知識・技能】経済の基本的な概念や、資本主義・社会主義の仕組みと課題点を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】労働問題と人権思想の発展とのかかわりを自分事として捉え、意義を説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	9	
	<p>【知識・技能】外国為替や戦後経済の動きを理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】戦争・平和と国際経済のつながりについて考察させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、自身をとりまく諸課題を自分事としてとらえさせる。</p>	<p>「第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち」より、国際分野を中心に学習する。現在ニュースで取り上げられている国際問題と関連の深いものを中心に扱う。</p>	<p>【知識・技能】外国為替や戦後経済の動きを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】戦争・平和と国際経済のつながりについて考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	8	
	定期考査	定期考査		○	○	○	1	
	定期考査の復習 三学期のまとめ	定期考査の復習 三学期のまとめ		○	○	○	2	
							合計	70